

No.7 恐竜の歯 (スピノサウルス)

🌟 キーワード 🏹 恐竜化石、歯の形態と食性、体のつくり など

fossil data *Spinosaurus aegyptiacus* [時代] 中生代白亜紀 [産地] モロッコ

スピノサウルスはどんな恐竜か？

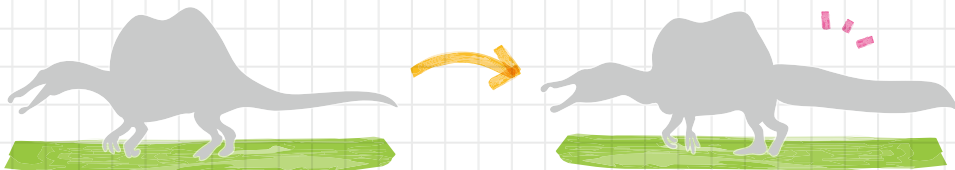
全長は約 14m。

“魚も食べていた” 肉食恐竜で、ティラノサウルスと並んで人気のある恐竜です。

北アフリカのモロッコやリビアなどで化石が発見されています。

頭はワニに似た細長い形をしている一方で、背中の骨が上に伸びて、“帆” のようになっています。2020 年には尻尾が太く巨大なオールのような形をしていたという研究結果が発表され、復元図が大きく変わりました。体のつくりから、泳ぎが非常に得意だったのではないかと考えられています。

復元図の変化



“魚も食べていた”？

肉食恐竜の歯は「ナイフのような形」だとよくいわれますが、スピノサウルスの歯はそうではありません。さらに、よく観察すると縦にいくつものスジが入っていることもわかります。この歯の形態は、現在のワニ（特に、魚が主食のインドガビアルなど）とよく似ています。

歯以外の体のつくり（頭や尻尾など）や、スピノサウルスのなかまのバリオニクスの胃の付近から魚のウロコの化石が発見されていることなども考慮すると、スピノサウルスは“魚も食べていた”と考えられるのです。



縦スジがある



円錐形



インドガビアル



インドガビアルの頭骨

(御船町恐竜博物館 常設展示より)